

大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3122 号 2016.7.11 発行

更生保護と福祉が接近 刑の一部執行猶予スタート



福祉新聞 2016年07月11日 編集部
更生保護施設両全会は、薬物離脱プログラムを実施している

今年6月1日、刑の一部執行猶予制度が施行された。一定の要件を満たす場合に刑の一部を猶予し、社会内処遇により更生を促す同制度は主に覚せい剤などの薬物依存症者を対象と想定。法務省と厚生労働省は昨秋、その支援の関係機関として福祉事務所などを挙げた地域連携指針を作った。刑務所を早期

期に出所する薬物依存症者の増加を見据え、更生保護関係者による障害者グループホーム（GH）運営も始まるなど、更生保護と福祉が一段と接近してきた。

「お友達と会うので出掛けます。晩ご飯はいりません」。「帰りが遅くなるようなら必ず電話して」。

都内の障害者GHで暮らす女性が外出する際の、職員とのやりとりだ。GHは2階建てで個室が4部屋ある普通の住宅に見える。

購入したのは社会福祉法人でも株式会社でもない。来年、創設100年を迎える更生保護法人両全会（東京都渋谷区、小畑輝海理事長）だ。

GHを運営するのは小畑理事長が代表を務めるNPO法人両全トウネサーレ。2015年12月に開設し、今年5月末までに4人の女性が入居した。薬物依存症者専用ではなく、常勤職員は3人。両全会職員も定期的に訪れ入居者と面談する。

両全会は渋谷区内で女性専門の更生保護施設（定員20人）を運営。刑務所を仮釈放となっても帰住先のない人などが平均で約4カ月入所する。その間に働いてお金をため、アパート暮らしを目指すのが基本だ。

■寄り添いが不可欠

「更生保護施設にいられる期間は短い。社会で自立した生活を送るには、退所後もなじみの職員らの寄り添いが必要だ」。小畑理事長はGH開設の狙いをこう話す。

両全会の更生保護施設は、入所者の8割が覚せい剤や窃盗の常習者。精神障害や発達障害の人も多い。

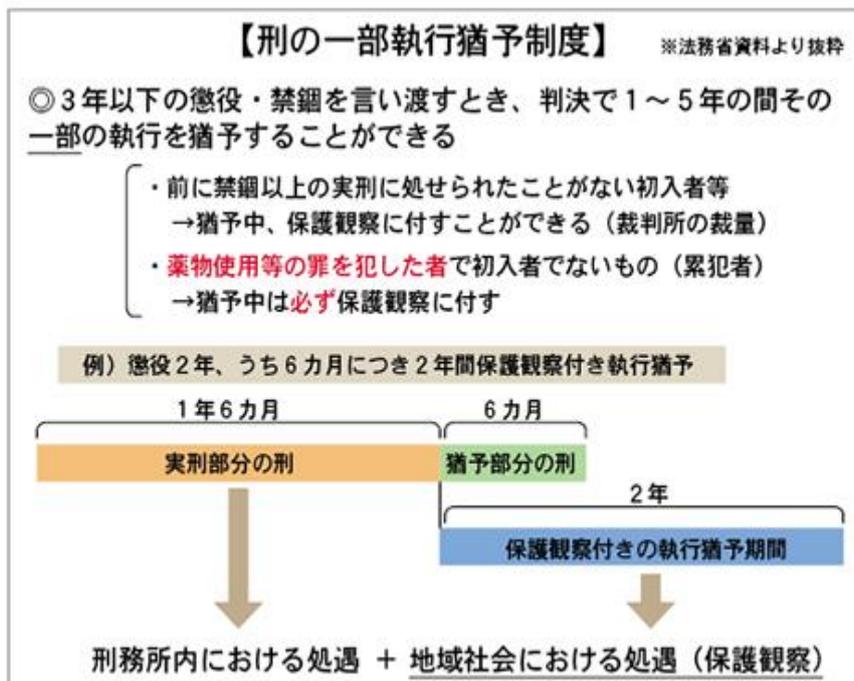
12年度からは施設内で独自の薬物離脱プログラムを開始。退所後も任意で通うよう促し交通費も両全会が負担しているが、通うのは該当者の半数程度。13年度からは法務省の予算で薬物離脱専門員が配置された。

こうした動きは、刑の一部執行猶予制度と深い関係がある。

同制度では、累犯の薬物使用者が一部執行猶予になると必ず保護観察が付く。数カ月間で終わることの多い仮釈放と異なり、最長で5年間、保護観察下に置かれるため、単年度ごとの保護観察対象者は従前よりも増える。

それを踏まえ、小畑理事長は「更生保護施設は単なる下宿屋から脱却する必要がある」と判断。外部講師の力を借りた施設内での処遇力向上、施設退所後に暮らすGHづくりを

進めてきた。より汎用性のある薬物離脱プログラムも開発中という。



■ 障害福祉の定番

国も各地域での連携に期待を寄せる。

「関係機関は薬物依存症者が精神症状に苦しむ一人の地域生活者であることを改めて認識し、偏見や先入観を排して回復と社会復帰を支援する」。

15年11月、法務省と厚労省がまとめた「地域連携ガイドライン」は基本方針にこう掲げた。刑務所を出所した薬物依存症者を司法だけで更生させるのは不可能だとし、福祉行政とも認識を共有しようというものだ。

福祉との関連では、保護観察中の支援として、本人の希望に応じて必要な障害福祉サービスなどを実施するよう福祉事務所などに求めた。法務省保護局は「保護観察終了後も薬物依存症者が必要な支援を受けられるよう、本人とかかわる人を増やすことが最も大切だ」としている。

なっとクマナー「リタイアシニアのプチ稼ぎ」 カンテレワンダー 2016年7月1日

リタイアしたシニアが無理しすぎず副収入をえる注目の働き方があるというんです。定年退職後の生きがいにもなる、今注目のプチ稼ぎの方法をなっとクリサーチしました。神戸市西区の、こちらのコインランドリー。

オーナーは66歳の藤岡克章さんです。

2015年9月まで、コンビニエンスストアを経営していましたが、自分が店に立つことが難しくなり、代わりの従業員も見つからなかったため、店をたたみました。

そんな藤岡さんが、新たな仕事として選んだのがコインランドリーでした。

【オーナー 藤岡克章さん】

Q コインランドリーをやろうと思ったのはなぜ？

「コンビニも辞めて定年（退職）しようと思っていたけど以前に（ここでコインランドリーを）経営していた人が辞められたんですよ、それでこの機械をどうするかというので、もったいないし」

ことし2月、藤岡さんはこの店をそのままひきつぎ、オーナーになったのです。

コインランドリー経営の魅力とは・・・？

【オーナー 藤岡克章さん】「こっちの方が断然楽ですよ、精神的にも肉体的にも。朝、掃除に来て、夕方掃除に来て、現金回収する。それだけ。何の手間もかかりませんね」
藤岡さんが、店に来るのは、掃除や、洗剤の補充をするときだけ。

【オーナー藤岡克章さん】「きょう、売上なんぼある？」

【妻・敬子さん】「今？ 朝から4800円」

自宅や外出先でも、スマートフォンで、売り上げや、洗濯機がどれくらい使われているかを確認することができます。

【妻・敬子さん】「便利です。機械が止まって、お客さんいないだろうなと思ったら掃除に行きます」

【オーナー藤岡克章さん】「僕はもうただ、興味、関心あるのは売り上げだけ」

では開業に、どのぐらいの資金が必要なのでしょう？

そして気になる、利益は？

【コインランドリーチェーン フジタカ 加藤義康 事業統括本部長】「郊外型ですと、初期投資費用は機械と工事費込みで、若干前後ありますが、2千万円ぐらい」

Q利益はどのぐらい

「年間売り上げが、800万から1000万円。1000万で計算すると、水光熱費300万円を抜いて、700万円が利益」

都市部の小型店では、売上げは半分ほどになりますが、都市部も郊外型も、初期投資にかかったお金は、5年程度で回収できるケースが多いそうです。

女性の社会進出や、水洗いできるスーツの普及などに伴い、コインランドリー店の件数はここ数年で大幅に増加。

景気に左右されにくく、客が来ない日は、光熱費もかからないため、大きな失敗をしにくいビジネスとしてリタイアを機に退職金で開業するシニアが増えているそうなんです。

経営を初めて、もうすぐ半年の藤岡さんは・・・

【オーナー 藤岡克章さん】「経費がかからない分、言ったら悪いけど、”片手間の仕事”みたいな感じ。

老後の仕事にはちょうどいいんじゃないですかね。命の続く限りやってみたいですけどね」
初期投資にかける費用がなくても、多くの自宅にある「あのスペース」を活用して、マネーを稼ぐ高齢者も・・・

甲子園球場近くにある、西宮市の住宅街。

ごく普通の「家の駐車場」に見えますが・・・。

実は、ここ、誰でも借りられる、予約制の駐車場なんです。

この日の利用者は、大阪・泉佐野市から家族と阪神戦を観に来たお父さんです。

【利用者】「このシステムを知るまでは、電車で来るか車で来ても駐車場をぐるぐる探しまわるというパターン。ごっついストレスだったんですけど、全然なくなりましたね。ここを借りるようになってから、甲子園（球場）に来る事も増えました」

駐車場のオーナーは、この家に住む、黒岩優さん、80歳。

2年前から、仲介会社を通じて、使わなくなった自宅の駐車スペースを一日単位で貸し出しています。

【オーナー 黒岩優さん】Qこのお客さんが来たら阪神が勝つということはある？

「ありますよ。このお客さんは、今、1勝1負。私の娘夫婦がここに車止めていたのが、マンションを買って出ていったから、空いたまま、10年近く。おととしから、アキッパさんに使ってもらってますから」

黒岩さんと利用者の橋渡しをしているのが、大阪に本社がある、駐車場仲介業の「アキッパ」です。

使われていない月極め駐車場や、自宅のガレージの持ち主と契約し、インターネットを通じて、貸し出すサービスをおととしから開始。

今や、契約を結んだ駐車場は大阪と東京を中心に、全国に六千台分もあります。今後2年以内に、今の3倍近い、1万7千台分に増やす計画です。

【アキッパ・森村優香さん】Q個人で貸し出すのと、こういったところを通すのはどこが違う？

「知らない人がこうやってる（看板を出し貸している）よりも、アキッパのユーザーに見て頂いた方が確実に予約をしていただける。コインパーキングにしまうと、機器の設置があり、工事費や初期費用がかかってしまうが、アキッパの場合は、駐車場のそのままの状態、貸出しをすぐにしていただける」

黒岩さんの駐車場の料金は、24時間利用で、1080円。

甲子園球場で試合やイベントがある日は、2592円です。

「あきっぱ」への手数料を差し引き、売上げの6割が、黒岩さんの収入となります。

予約は、パソコンやスマートフォンで、10日前からできます。

予約時に、クレジットカードで決済するため、料金が支払われないといったトラブルも起きていないといいます。

予約が完了すると、オーナーと客に、メールやファックスでお知らせが届きます。

「甲子園周辺」でパソコン検索すると、駐車場がズラーっと出てきました。

【アキッパ・森村優香さん】「都心部に関しては近辺のコインパーキングよりも、3割から半額ほど安い設定をしています。反対にスタジアム周辺に関しては、集中的に需要が高まるエリアですから、お客様は（予約して）確実にその場所に止められるメリットがあります」

年齢を考え、来年には車の運転をやめるつもりだという黒岩さん。

その後は、現在使っている、自分の車用の駐車場も貸し出すつもりです。

【オーナー 黒岩優さん】「高校野球（期間が）長いでしょ、去年の8月は約5万近い収入がありました」

Q管理は大変ではない？

「いえいえ、私はなにもしません。すべて向こうさん（アキッパ）ですから、うちはただこの場所を貸すだけ」

Q10年以上何もしてなかった土地が、月々5万円近く生み出す？

「全然違いますよね、宝の山です」

Q儲かった宝はどんなふうに使っている？

「もうちょっとしたら、孫が進学しなきゃいけないから、その費用にしようと思います」

水曜フォーカス「年商1億円以上！福祉の常識を覆すお菓子工場」

カンテレワンダー 2016年6月29日
滋賀県にある売上げが1億円以上にもものぼるお菓子工場。

身体障害や知的障害などがある人たちが作業していて、全国から同業者が視察に訪れます。

「障害者施設ではなく、会社のように」と評される、福祉の常識を覆したお菓子工場にフォーカスしました。



る、福祉の常識を覆したお菓子工場にフォーカスしました。

滋賀県大津市の社会福祉法人が運営する「がんばりカンパニー」。

身体障害や知的障害などがある50人が働いています。



身体障害や知的障害などがある50人が働いています。

ここで作られる有機食材から出来たクッキーは、大阪・梅田の自然食専門店など、全国から注文が入る人気商品。

【「がんばカンパニー」の所長・中崎ひとみさん】「世の中って、理不尽だし、不公平じゃないですか？それはしょうがない。しょうがないけど、頑張りたいじゃないですか。立ち向かいたいというか」

「がんばカンパニー」の所長を務める中崎（なかざき）ひとみさんは、重い自閉症の息子を育てた経験から、24年前にここで働き始め、傾いていた経営を立て直しました。その手段の一つが...「高い賃金を支払うこと」です。



「がんばカンパニー」で働く障害のある人の平均賃金は、およそ9万2000円。

全国の同業者の平均と比べ、2万円以上高いのです。

【「がんばカンパニー」の所長・中崎ひとみさん】「(他の施設は) 障害者は労働者ではなかった。利用者であって、職員だけが労働者。ここは(障害者は) 全員労働者で、労災もあるし、雇用保険もあるしということから始まっている。そのためには稼いで給料を出さないといけないから、みんな事業を頑張ろうよって」

この改革が意識を変えました。

【村井皆継さん】(Q何作っているのですか?)

「メープルシフォン(ケーキ)です」

(Qコツは?)

「混ぜすぎないのがコツかな?」

22歳の村井皆継(むらい・みなつぐ)さん。

軽度の知的障害があります。

元々お菓子づくりに興味があった村井さんは、

3年前にここに来て以来めきめきと腕をあげ、

今ではケーキ作りを任されています。



【村井皆継さん】(Q食べてくれる人の事を想像する?)

「食感が気になりますね。『おいしい』と思ってもらいたい。食感が気になりますね、やっぱり」

【村井皆継さん】「OKです。出来ました!もうこれ以上膨らまないんですよ」

(Q出来はどうですか?)

「いいです。でも食感は分からないですよ、ホンマに」

一人一人の力に見合った仕事を任せ、見合った給料を支払う。

ごく当たり前の合理的な仕組みが、“働く自覚”に繋がっています。

【工場の責任者】「ミキサー室といまして、クッキーの生地をつくる部屋です。知的障害のある若い男の子はすごく体力があるので、生地を入れたりという作業をしている」

「この部屋はグラムを計ったりとか...ちょっと計算が入ってきます。計算というと知的障害のある人は苦手なので、精神障害のある方がたくさん働いている」

両脚に障害があり、車いすで生活している女性は、事務を担当しています。

【稲垣さん】『「仕事するから、その対価としてお給料がもらえる」という。『障害者だから』って甘やかさないというところもいいところだと思います」



シングルマザーや性的マイノリティーなど、「生き辛さ」を抱えている人たちも働いています。

【山田さん】「ここは純粋に『能力本位』ということで、能力だけで見てくれる。障害があるからと言って何もできないというのではないし、何よりもその人自身を認めるというところに尽きると思います」

福祉の常識を覆したお菓子工場。

焦点をあてると見えてきたのは”働く自覚”の先にあるもの。

工場でケーキ作りを任されている村井さん。

家庭環境に恵まれず、養護施設で育ちました。

ずっと憧れていた一人暮らし。

自分で稼いだお金で、去年ようやく叶えることができました。



【村井皆継さん】「障害があっても、諦めるのではなくて、障害があってもできるんだっていうのを見せたい。そういう気持ちがある。ただ単に『仕事をやっていこう』じゃなくて、頑張れる。夢？お店...まだ先なんですけど、店を出したいなって」

社会の一員として働く。

だからこそ、自立した将来像を描くことが出来るのです。

【「がんばカンパニー」の所長・中崎ひとみさん】「うちらって存在がなくなるのが一番いい社会だと思うんですね。別にここで働かなくても、みんな普通の会社で働いて、給料をもらって生活できるし...ってなるじゃないですか。

それが一番理想かなって」

お菓子工場で実践されている、新しい福祉の形です。

「将来は VR がディスプレイを代替」 HTC の戦略

日経トレンディネット 2016年7月11日

HTC のブース。可動式マシンと VR ヘッドセットを組み合わせることで、より臨場感の高い VR を実現していた

2016年5月31日から6月4日まで台湾・台北で開催された Computex Taipei 2016 には、20カ国から1600を超える企業が出展した。一般消費者向け、法人向け、さまざまな技術や製品がずらりと並ぶ中、目についたのはやはり VR (Virtual Reality、仮想現実) にかかわる展示だった。

VR ヘッドセットを製造、販売している HTC やサムスン電子は、視覚だけでなく体全体で VR の世界を体感できるように大がかりなマシンを使った体験スペースを用意。MSI は背中に背負って使用する VR 用のパソコン(PC)を、ZOTAC は VR 対応の PC を出品した。いずれも体験スペースには人だかりができる人気ぶりだった。



サムスン電子のブース

ZOTAC の VR デモコーナー。お立ち台のようなところで、かなり目立つ

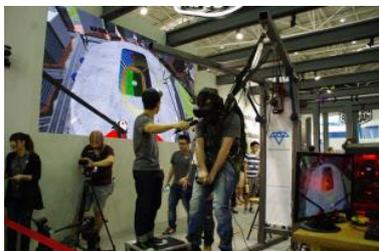
VR を展示していたのは、VR 関連機器メーカーだけではない。PC ケースや電源ユニットなどの PC パーツ



を製造するクーラーモンスターは、自社製品の性能をアピールするためにパラシュートで降下する体験ができる VR コンテンツのデモを実施。自動車メーカーのオーディィは、VR を使うことで、自動車に乗り込んだ気分インテリアを 360 度見られるコーナーを設けて

いた。

あちこちのブースが自社製品のアピールに VR を取り入れている様子は、VR が本格的に普及してきたことの象徴のようだった。そして、それらのブースでも最もよく使われていたのが HTC の VR システム「Vive」。そこで、HTC の VR New Technology 部門で AVP を



務めるレイモンド・パオ氏に VR の現状と今後について話を聞いた。

クーラーモンスターのブースでは、同社のパーツを使って組み立てたパソコン VR システムを動かしていた
オーディのブースでは、自動車の展示よりも VR でのプレ



ゼンテーションに長蛇の行列が

■まずはゲームから、将来は医療や教育も

——米国時間 2016 年 2 月 29 日（日本時間 3 月 1 日）に予約が始まった Vive は好調のようですね。

レイモンド・パオ氏（以下、パオ氏）： 一時はオーダーをストップすることもありましたが、工場を拡張し、6 月以降はすぐに出荷できる準備ができました。今はまだ米国が最も大きい市場ですが、カナダ、中国、台湾、日本、オーストラリア、ニュージーランドなど 24 カ国で販売します。

——VR は今、次世代のテクノロジーとして注目を集めています。今後、普及するうえで、キラーコンテンツになるのはどんなコンテンツでしょう？

パオ氏： VR はまだ始まったばかりの技術ですが、波は 2 つあると思っています。最初の波は、すでに立ち上がっているゲームです。でも、その影響はゲームだけではないでしょう。その後、2 つめの波が来ると思います。エンターテインメント業界や映画業界なども VR には興味を持っています。さらに、医療分野、教育分野、アートデザイン、自動車などの製品開発、ショールームなどにも広がるでしょう。VR は、想像する過程でもとても便利なデバイスです。このような古い分野でも、大きなチャンスがあります。



HTC で VR を担当するレイモンド・パオ氏

将来的に、あらゆるディスプレイは VR に置き換わる可能性があります。VR があれば、目の前にはあなたが普段見ているのと同じような 3 次元の場所が広がります。どんな産業にも、時間や場所の制限があります。その限界を超えるには、VR が必要なのです。

——VR が今後普及する上での課題は何でしょう。

パオ氏： 新しい技術ですからいろいろありますね。VR システムは、上手にデザインできていないと楽しめません。VR 空間で心地よくいられるような新しい技術が重要です。初めて VR を体験するユーザーは心地よく感じられないと、二度とやらないでしょうから。

例えば、あるユーザーは「ワイヤーがなきゃダメなのか？」といます。今の VR ヘッドセットにはケーブルがついていますからね。そこで、多くの企業がワイヤレスにする技術に取り組んでいます。

将来的にはもっと高解像度になるのかとか、今のコントローラーとは別のタイプでインタラクティブなものを出てこないのかといった話もあります。ジェスチャーとかね。これも多くの企業に取り組んでいます。これからの 2~5 年で、新しいイノベーションが見られるはずですよ。

——今回の Computex でも、MSI が背中に背負う VR 用のパソコン「Backpack PC」を出していました。

パオ氏： Backpack PC は最初のイノベーションの一つでしょうね。VR をプレーしながら

ら、自由に動くことができます。



MSI が発表した「Backpack PC」

■VR 普及には体験が必要

——Computex の基調講演では、マイクロソフトが自社で開発した Mixed Reality (MR、複合現実) のプラットフォーム技術「Windows Holographic」を他社に公開すると発表しました。その企業には御社も含まれています。

パオ氏： MR と VR は違うテクノロジーであり、いずれも新しいものですが、相互に作用するものだと思います。

将来的には、MR は VR や AR (Augmented Reality、拡張現実) と一緒になるかもしれません。現状は様々な技術がありますから、ともに進むことで、様々なチャンスにつながればと思っています。Windows Holographic についてはまだコンセプトを聞いたのですが、非常に面白いですね。

マイクロソフトが開発した MR 用のヘッドマウントディスプレイ「HoloLens」

——今後、日本で VR を広げるための戦略を教えてください。



パオ氏： VR はテレビなどで見てもイメージしにくい技術です。VR の世界に入って体験してみないと。そこで、まずは体験できる場所を作ることが大切ですね。VR を体験した人たちは、きっとそのことを友人などに話してくれます。口コミで広がっていくでしょう。



もう一つは、コンテンツサイドへのサポートです。日本は1、2を争うクリエイティブな国。クリエイティブなコンテンツ・ディベロッパーがたくさんあります。我々は、それらの企業とともに利益を上げられるエコシステムを実現し、VR のコンテンツを作るサポートをしていきたいと思えます。地域に合わせたコンテンツも必要です。それがまた、ユーザーが VR を体験する機会を増やすことにもつながるでしょう。

HTC の VR システム「Vive」。ヘッドセットと2つのワイヤレスコントローラー、2つのベースステーションで構成する。価格は9万9815円

——日本ではバンダイナムコが期間限定で、VR を使ったゲームを体験できるエンターテインメント施設「VR ZONE Project i Can」をオープンしました。動き回るような VR ゲームをやるに

は自宅は狭すぎますが、その点、専用施設は安心。アーケードゲームは VR を体験する最初のステップとしていいのではと思いました。

パオ氏： VR Zone には私もいきました。クリエイティブで素晴らしかったですね。アーケードゲームもサポートしていきたいと思えます。日本だけでなく、中国、台湾、香港のような場所に制限がある国では、VR Zone のような施設は適していると思えます。ただ、VR には歩き回るだけでなく、座って楽しんだり、ビデオを見るような使い方もあります。その両方の楽しみ方を重視していきます。(日経トレンディネット 平野 亜矢)

